

次期学習指導要領 1枚まとめ｜小学校

体育 小学校

身に付けたい「動き」と、運動の多様な楽しみ方を軸に

10秒でいうと 1～4年は「遊び」の要素を取り入れ、運動名でなく身に付けたい「動き」を軸に示す

小学校1～4年は、「遊び」の要素を取り入れた学習として整理し直す方向です。具体的な運動のやり方ではなく、身に付けたい「動き」を軸に示す方向です。公正や協力などの態度は、「運動との関わり方」として知識や技能を中心に教える方向です。保健は、身近な生活を中心とした健康・安全の基礎を実践的に学びます。体育は2年間のまとまりで計画することを基本とする方向です。

1 小1～4は「運動遊び」で学ぶ

小1～4は「各種の運動の基礎を培う時期」とされています。ここでは「遊び」の要素を取り入れた学習として整理し直す方向です。「運動遊び」は、やらされる活動ではなく、教師の意図をもちつつ、子供が「やってみたい」と取り組む活動を想定しています。P270

授業では 鬼遊びのルールを子供と工夫しながら、走る・かわす・止まるといった動きを繰り返し楽しむ、といった授業が考えられます。

2 「動き」を軸に、2年間のまとまりで計画

小4までは、具体的な運動のやり方を示すのをやめ、どんな「動き」を身に付けたいかを軸に示す方向です。体育は2年間のまとまりで計画的に学ぶことを基本とします。毎年同じ時期に同じ運動を置く計画を見直し、生まれた余白で学びの質を高めることが期待されています。P272

授業では 3・4年の2年間で「跳ぶ動き」を見通し、マット・跳び箱・なわとびを組み合わせた計画にする、といった工夫が考えられます。

3 態度は「運動との関わり方」として教える

公正、協力、責任などの態度は、今は「学びに向かう力」に位置付けています。次期は「運動との関わり方」として、なぜそうするのか（知識）と、実際の行い方（技能）を中心に教える方向です。形だけの指導や評価にならないようにするねらいです。P267 P268 P269

授業では ゲームの前に「どうしたら皆が楽しめるか」を話し合い、作戦タイムでの声のかけ方を練習する授業が考えられます。

4 保健は「概念」と「原則」を軸に

保健は、健康や安全の「概念」と「それに関わる原則」を軸に整理する方向です。概念は何が関わって起きるか、原則はどうすればよい結果になるかを表します。小学校では、身近な生活を中心とした基礎的な内容を実践的に学びます。演習的な学習で理解を深める方向です。P266 P267 P268 P271

授業では 1週間の睡眠時間を記録し、体調との関係を友達と比べて、よい生活のこつを見付ける、といった授業が考えられます。

ほかにも変わること（小学校）

- 小1～4は「運動遊び」を通した学びに再整理 P270 P272 P61 P107
- 態度（公正・協力・責任など）は「運動との関わり方」として知識・技能で教える P268 P269 P274
- 各領域は2年間のまとまりで計画的に学ぶことを基本に P272 P61
- 求める技能の水準を下げすぎず高すぎず調整（高2以上は現行の中3～高1程度） P270 P272
- 保健は「概念」と「それに関わる原則」を軸に、演習的な学習で深める P267 P268 P271 P274
- 体育と保健の関連づけと、重なる内容の見直し P271 P272
- 変化する健康課題・安全課題への対応と「生命（いのち）の安全教育」 P265 P271
- 水泳授業・暑さ対策など、授業の実施環境の見直し P273 P274

原田英語.com 次期学習指導要領ナビ｜https://www.haradaeigo.com/jikigakushushido/download/｜2026年11月4日 版

研修・会議・授業・保護者会での印刷・コピー・配布・投影はご自由にどうぞ。ご連絡は不要です。出典：審議まとめ（2026年10月5日）。告示前の方向性です。